

●評価規準案

高等学校地理歴史科 「高等学校 日本史A」 (35・清水・日A310)

月	配 当 時 数	編	学習内容 (目次)	評価の観点			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用・技能	知識・理解
4月			序編 私たちの時代と歴史				
	(1)		(歴史に学ぶ 近代史を学ぶ前に)	近現代にいたる我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、主体的・意欲的に学習活動をしている。	近現代にいたる我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、歴史的事象を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	近現代にいたる我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、歴史的事象に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	近現代にいたる我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、歴史的事象に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力と近現代史を座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。
5月		第1編	第1章 国際関係の変化と幕藩体制の動揺				
	2	5	1 19世紀の世界とアジア 2 外国船の来航と海防策 3 新しい学問と思想 4 社会の変化と農民の動向 5 幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係に着目し、多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係を公正に読み取る能力を身に付けている。
			第2章 明治維新と近代国家の形成				
6月 7月	11		1 ベリ来航と日米和親条約 2 通商条約の締結と安政の大獄 3 貿易の影響と尊王攘夷 4 倒幕運動の展開 5 幕府の滅亡と新政府の成立 6 近代国家の成立と国民の誕生 7 地租改正と殖産興業 8 文明開化 9 明治政府の国際関係 10 国境の画定と北海道の開拓 11 不平士族の反乱と日朝修好条規	開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題について、近代史の座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。
			第3章 立憲政体の成立と国際的地位の向上				
9月	12		1 自由民権運動と政党の結成 2 松方財政と民権運動の激化 3 立憲体制の確立 4 初期議会と条約改正 5 日清戦争 6 日清戦争後の政治と日英同盟 7 日露戦争 8 ポーツマス条約と満州・樺太 9 韓国の植民地化 10 近代産業の発展 11 社会問題の発生と政府の対応 12 明治の思想・学問・文化	立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身に付けている。

月	配 時 数	編	学習内容（目次）	評価の観点			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
10月		第2編 大戦期の世界と日本	第1章 第一次世界大戦と日本				
			1 護憲運動と大正デモクラシー 2 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 3 大戦景気と米騒動 4 政党内閣の成立と戦後恐慌 5 ヴェルサイユ体制 6 国際連盟の成立とワシントン体制 7 社会運動の高まり 8 関東大震災と政党内閣の時代 9 大衆文化の成立 近代の追究 ①近代日本の住環境（主題学習） ②大日本帝国をめぐる人口移動（主題学習）	第一次世界大戦前後の国際関係の変化と我が国の政治・外交・経済・文化の動向との因果関係に関心をもち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	第一次世界大戦前後の国際関係の変化と我が国の政治・外交・経済・文化の動向との因果関係を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	第一次世界大戦前後の国際関係の変化と我が国の政治・外交・経済・文化の動向との因果関係に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	第一次世界大戦前後の国際関係の変化と我が国の政治・外交・経済・文化の動向との因果関係について、近代史の座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。
11月／12月		10	第2章 第二次世界大戦と日本				
			1 金融恐慌と外交政策 2 世界恐慌と昭和恐慌 3 満州事変と国連脱退 4 ニ・ニ六事件と日中戦争 5 第二次世界大戦と日本 6 日独伊三国同盟と日米の対立 7 アジア太平洋戦争（太平洋戦争）の勃発 8 日本占領下のアジア 9 戦時下の国民生活 10 日本の敗戦	第二次世界大戦からアジア太平洋戦争にいたる過程の歴史的事象とそこから生まれた諸課題に関心をもち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	第二次世界大戦からアジア太平洋戦争にいたる過程の歴史的事象とそこから生まれた諸課題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	第二次世界大戦からアジア太平洋戦争にいたる過程の歴史的事象とそこから生まれた諸課題に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	第二次世界大戦からアジア太平洋戦争にいたる過程の歴史的事象とそこから生まれた諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身に付けている。
1月		7	第1章 戦後政治の動向と国際社会				
			1 占領と改革 2 占領下の政治と労働運動 3 日本国憲法の制定 4 冷戦と占領政策の転換 5 大戦後の国際情勢と日本の独立 6 戦後の国民生活と変化	アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移に関心をもち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について、現代史の座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。
2月／3月		7	第2章 経済の発展と国民生活の変化				
			1 55年体制の成立 2 平和運動と安保闘争 3 高度経済成長 4 高度経済成長期の日本と世界 5 安定成長から経済大国へ 6 経済大国へのみち	戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関心をもち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身に付けている。
		6	第3章 現代の日本と世界				
			1 世界史の転換—冷戦の終結と「昭和」の終わり— 2 55年体制の崩壊 3 21世紀をむかえて 4 こんにちの世界と日本の課題 近代の追究 ③地域社会の変化—市町村合併の歴史（主題学習）	世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割に関心をもち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。	世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。	世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割について、近現代史の座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。

月	配当 時数	編	学習内容（目次）	評価の観点			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	1		現代からの探究 沖縄の基地問題 と私たちの課題（主題学習）	現代社会の諸課題が 歴史的に形成された ものであることを気 付き、主体的・意欲 的に学習活動をして いる。	現代社会の諸課題を 歴史的視点から多面 的・多角的に比較・ 考察した上で、その 結果を的確に発表し ている。	現代社会の諸課題に 関する諸資料を見 学・収集し、吟味・ 考察してその結果を 適切に年表・地図な どに表現している。	現代社会の諸課題に 関する相互の因果関 係を公正に読み取る 能力と近現代史の座 標軸となる知識を踏 まえて大観的に捉え ることのできる能力 を身に付けている。

計 69(70)